

ちとせ 市議会だより

No.202



※写真は昨年11月に行った向陽台中学校との交流学習会の様子です。

詳しい内容については15ページをご覧ください。

向陽台中学校3年生のみなさん！ぜひ、「議会だより」を読んでみてください。

令和5年 第4回(12月) 定例会

目次

- 定例会のあらまし、各委員会の活動状況 … 2～3ページ
- 議決結果 …………… 4ページ
- 一般質問 …………… 5～14ページ
- 交流学習会・議員学習会 …………… 15ページ
- 議会事務局からのお知らせ等 …………… 16ページ

定

例会の あらまし

令和5年第4回定例会は、12月1日から12月14日までの14日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和5年度各会計補正予算、条例の制定など、報告4件、議案19件、諮問1件、意見書1件が提出されました。

このうち、令和5年度補正予算の議案2件は、13人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置し、審査を付託しました。

また、即決を必要とする議案以外については、関係する常任委員会に審査を付託しました。

その結果、各議案等については、原案のとおり可決、諮問については可と決定しました。

今定例会の主な議案の内容は、次のとおりです。

令和5年度補正予算

◆一般会計補正予算（第6回）

歳入歳出予算の総額に
13億2千812万4千円
を追加

●主な内容

・特定防衛施設周辺整備調整
交付基金積立金
1億3千309万円

・ふるさと納税推進事業費
6億5千万円

・子ども医療費助成事業費
2千666万6千円

・公営住宅等長寿命化型改善
等事業費
2千634万1千円

・小学校改修事業費
1千770万5千円

・中学校改修事業費
671万6千円

◆一般会計補正予算（第7回）

歳入歳出予算の総額に
20億3千216万8千円
を追加

●主な内容

・住民税非課税世帯等への物価
高騰支援給付金支給事業費
12億1千489万4千円

・低所得の子育て世帯生活支
援特別給付金支給事業費
2億3千532万8千円

・ちとせ市民応援商品券
2024発行事業費
5億5千381万8千円

◆国民健康保険特別会計補
正予算（第1回）

歳入歳出予算の総額に
524万1千円
を追加

◆主な内容

・国民健康保険事業財政調整
基金積立金
397万9千円

主な条例

◆千歳市印鑑登録及び証明に関
する条例の一部を改正する条例

電子署名等に係る地方公共
団体情報システム機構の認証
業務に関する法律の一部改正
に伴い、自動交付機による印
鑑登録証明の申請に関し移動
端末設備を使用する方法を加
えるために制定。

人 事

◆次の件を可と決定

◎人権擁護委員候補者に
蓬田 恒春さん（再任）

そ の 他

◆指定管理者の指定

次の指定管理者を指定。
【施設の名称】
千歳市営住宅及び共同施設

【管理期間】

令和6年4月1日から
令和11年3月31日まで

【指定管理者】

日興・千歳建設グループ
札幌市北区北19条西4丁目
1番21号

日興美装工業株式会社
代表取締役 櫻井 和久

千歳市流通1丁目3番地の1
千歳建設株式会社
代表取締役社長 藤川 俊一

◆工事請負契約の締結

【工事名】
消防本部大規模改修工事
（建築）

【工事場所】

千歳市東雲町4丁目1番地
の7

【請負金額】

1億7千534万円
【請負契約者】

弘和・後藤田特定共同企業体

千歳市北栄1丁目30番4号

株式会社弘和建设工業

代表取締役 黒坂 篤

千歳市千代田町1丁目9番地

株式会社後藤田組

代表取締役 後藤田 真次郎

【工事名】

消防本部大規模改修工事

(機械)

【工事場所】

千歳市東雲町4丁目1番地の7

【請負金額】

1億7千149万円

【請負契約者】

新栄・高橋特定共同企業体

千歳市北信濃770番9

新栄工業株式会社

代表取締役 新井田 保

千歳市本町2丁目6番地

株式会社高橋管機工業

代表取締役 中澤 幹生

意見書

第4回定例会において、議員提案された意見書1件を原案可決しました。

◆ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

各委員会の活動状況

11月～12月に開かれた各委員会の活動状況をお知らせします。

総務文教常任委員会

▼11月14日(火)

～11月16日(木)

福岡県北九州市、熊本県庁、熊本県宇城市で行政視察を実施した。

※詳細は次号掲載予定

▼11月27日(月) 9時

千歳市本庁舎周辺再整備基本計画に基づく民有地の取得など、20件の所管事務調査を報告済みとし、継続審査中の千歳市学校給食費条例の制定について原案可決とした。

▼12月4日(月) 13時

千歳市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてなど、第4回定例会付託議案5件を原案可決とし、公立大学法人公立千歳科学技術大学による「大学・高専機能強化支援事業」への申請についての所管事務調査を報告済みとした。

▼12月11日(月)

本会議終了後

消防広報自動車の交通事故など、2件の所管事務調査を報告済みとした。

厚生環境常任委員会

▼11月8日(水)

～11月10日(金)

三重県桑名市、愛知県豊橋市、京都府京都市で行政視察を実施した。

※詳細は次号掲載予定

▼11月28日(火) 10時

令和6年度の診療体制についてなど、12件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月4日(月) 13時

千歳市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定についてなど、第4回定例会付託議案2件を原案可決とし、令和6年度保育定員の拡大に係る事業者選定結果等についてなど、4件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月11日(月)

本会議終了後

千歳市手数料徴収条例の改正(案)の概要など、4件の所管事務調査を報告済みとした。

産業建設常任委員会

▼11月7日(火)

～11月9日(木)

福岡県那珂川市、長崎県なががわ長崎市で行政視察を実施した。

※詳細は次号掲載予定

▼11月28日(火) 13時

令和5年度千歳市一般会計補正予算(案)の概要など、9件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月4日(月) 13時

千歳市公営企業に従事する企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例の制定についてなど、第4回定例会付託議案4件を原案可決とし、上長都公園庭球場の廃止など、2件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月7日(木)

補正予算特別委員会終了後

令和5年12月5日に発生した市発注業務における

事故報告の概要についての所管事務調査を報告済みとした。

▼12月11日(月)

本会議終了後

令和5年度千歳市一般会計補正予算(案)の概要についての所管事務調査を報告済みとし、令和5年度行政視察報告について協議した。

議会運営委員会

▼11月17日(金) 13時

議会改革について協議した。

▼12月1日(金) 11時

第4回定例会の議事運営について決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。

▼12月8日(金) 10時

第4回定例会2日目の議事運営について決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。

▼12月14日(水) 11時

第4回定例会最終日の議事運営について決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。

第4回定例会 主な議決結果概要・議案の賛否

| 件名・議案賛否・議決結果 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 付託した 委員会 | 議決結果 |
|--------------------|---|-----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|-----------|----------|-----------|----------|----------|-----------|----------|----------|-------------|------|
| | 安部 優雅 | 渡部 謙太郎 | 北原 偉男 | 岩満 順郎 | 丸岡 伸幸 | 吉谷 徹 | 落野 章一 | 飯田 盛好 | 大山 益巳 | 山口 康弘 | 松倉 美加 | 北山 敬太 | 松隈 早織 | 相沢 晶子 | 坂野 智 | 五十 嵐桂一 | 山崎 昌則 | 佐々 木雅宏 | 古川 昌俊 | 今野 正恵 | 平川 美由紀 | 仲山 正人 | 宮原 伸哉 | | |
| (令和5年第3回定例会) 議案第3号 | 千歳市学校給食費条例の制定について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 総務文教 | 原案可決 |
| 議案第1号 | 令和5年度千歳市一般会計補正予算について(第6回) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 補正予算特別 | 原案可決 |
| 議案第2号 | 令和5年度千歳市国民健康保険特別会計補正予算について(第1回) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 補正予算特別 | 原案可決 |
| 議案第3号 | 千歳市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 厚生環境 | 原案可決 |
| 議案第4号 | 千歳市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | - | 原案可決 |
| 議案第5号 | 千歳市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | - | 原案可決 |
| 議案第6号 | 千歳市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | - | 原案可決 |
| 議案第7号 | 千歳市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 総務文教 | 原案可決 |
| 議案第8号 | 千歳市公営企業に従事する企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第9号 | 指定管理者の指定について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第10号 | 財産の処分の変更について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 総務文教 | 原案可決 |
| 議案第11号 | 工事請負契約の変更について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 総務文教 | 原案可決 |
| 議案第12号 | 工事請負契約の締結について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 総務文教 | 原案可決 |
| 議案第13号 | 工事請負契約の締結について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 総務文教 | 原案可決 |
| 議案第14号 | 市道路線の認定及び変更について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第15号 | 町の区域及び名称の変更について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第16号 | 道央廃棄物処理組合規約の一部変更について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 厚生環境 | 原案可決 |
| 議案第17号 | 令和5年度千歳市一般会計補正予算について(第7回) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | - | 原案可決 |
| 議案第18号 | 千歳市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | - | 原案可決 |
| 議案第19号 | 千歳市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | - | 原案可決 |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | - | 可と決定 |
| 意見案第1号 | ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | - | 原案可決 |

※議員番号「15」坂野 智 議員は、議長のため賛否は「-」としています。

「○」=賛成
「×」=反対
「退」=退席のうえ採決。

問 本年の日米共同訓練期間中に、米兵が千歳市民の車両に無断で侵入する事案が発生した。成人して一定程度言語理解や思考ができるであろう米兵が、問題を何度も起こすとすると米兵そのものの安全性が疑わしいのは否めない。2度あることは3度ある。過去の事例に照らせば3度以上あり、市民の暮らしの安心安全を考えれば訓練期間中は最低

日米共同訓練における米兵の外出



日本共産党 吉谷 徹 議員

答 市長 日米共同訓練など、国防に関する基本的な政策は、国の専管事項と認識しているところであり、我が国全体を網羅した隙のない防衛体制を構築するためにも、基地が所在するまちとして協力する必要があると考えているが、訓練の実施にあたっては、市民の「生活環境」や「安全・安心」の確保が重要であると考えていることから、国に対し、「協定の遵守」とともに事件・

問 北海道大演習場でのオスプレイを活用した訓練が今後もないとは言い切れない。今なお事故やトラブルが

北海道大演習場におけるオスプレイの受け入れ

事故等の防止に向け「安全管理の徹底」や「綱紀粛正の徹底」に加え、「速やかな情報提供」などを要請しているところである。お尋ねの「防衛施設外での宿泊」や「外出」の禁止については要望する考えはないが、千歳基地等で共同訓練が実施される際には、改めて、国に対し「協定の遵守」や「綱紀粛正の徹底」を求め、市民の安全・安心の確保に向け、適正に対応していく。

答 市長 11月29日、鹿児島県屋久島沖合においてCV-22オスプレイ1機が墜落するという残念な事故があった。このことを受け、市は「当該機は市民の関心が高い機体であること」「速やかに飛行停止しなかったこと」などから、市民に不安を与えることのないよう、国に

発生し、過去含め事故原因の究明と要因の報告も詳細にされることが進まない軍用機であり、近隣飛行時は住民の心配や不安の払拭は今後難しいと考える。日米共同訓練も含むが、訓練で北海道大演習場の千歳敷地内にオスプレイを受け入れない意思を、要望の場で防衛局や防衛省に伝えていただけないか、市長の考えを伺う。

対し、「安全性が確認されるまで飛行停止措置を講ずること」「原因究明を行い再発防止を図ること」などを改めて米側に強く求めるよう12月1日に要請を行ったところであり、国からは、「CV-22オスプレイは12月6日以降、運用を停止した」との情報提供があったところである。日米共同訓練などにおける、オスプレイの運用を含む訓練場所の選定や訓練内容などは、国の専管事項と認識している。今後も、共同訓練が実施される際には、市民の安全・安心の確保に向け、国に対し、「航空機の整備等安全管理の徹底」や「速やかな情報提供」「綱紀粛正」などを強く求めていく。

市政を問う!!

今定例会では、12月8日、11日、12日、13日の4日間、各党派等からの一般質問が行われました。これらの質問の中から、主なものを掲載します。なお、質問議員の党派および氏名は、次のとおりです。

一般質問議員

- ☆日本共産党 吉谷 徹 議員
- ☆日本維新の会・新党大地 丸岡 伸幸 議員
- ☆無所属 落野 章一 議員
松隈 早織 議員
北山 敬太 議員
相沢 晶子 議員
- ☆自民党議員会 山口 康弘 議員
渡部謙太郎 議員
北原 偉男 議員
山崎 正則 議員
岩満 順郎 議員
松倉 美加 議員
- ☆公明党議員団 今野 正恵 議員
仲山 正人 議員



質疑の様子は、HPからご覧いただけます。



日本維新の会・新党大地
丸岡 伸幸 議員

熊被害に
遭わないための対策

問 ①熊出没時、どこに連絡し、誰が現場にかけつけるのか。また、駆除や山に追い返すのかの判断は誰が決めているのか何う。②市民の皆さまが熊にあわないためにも、「身を切る改革」で予算の都合をつけ、熊よけの鈴やホイッスルを配布してほしいが、所見を伺う。
答 市長 ①市民が熊を目撃した場合は、警察または市役所に通報するよう市ホームページで周知している。市街地周辺で目撃情報があった場合には、農業振興課職員とクマ防除隊員が現場に急行し、警察と連携して状況を確認するとともに、パトロールの実施や注意看板の設置、SNSなどでの市民周知を図るほか、関係機関や市の関係部局に情報共有を行っている。また、熊を発見した場合、産業振興部において、追い払いや駆除について判断し、対応している。②熊の被害に遭わないためには、出没している場所に近づかないことが重要である。山菜採りや登山などで熊の生息する場所に入る方は遭遇する危険性を認識した上で対応しているものと考えていることから、市民への熊鈴の配布



無所属
落野 章一 議員

高齢者・障がい者世帯
への除雪サービス

問 次の4点を伺う。①除雪支援サービスはどのよう

ページで周知している。市街地周辺で目撃情報があった場合には、農業振興課職員とクマ防除隊員が現場に急行し、警察と連携して状況を確認するとともに、パトロールの実施や注意看板の設置、SNSなどでの市民周知を図るほか、関係機関や市の関係部局に情報共有を行っている。また、熊を発見した場合、産業振興部において、追い払いや駆除について判断し、対応している。②熊の被害に遭わないためには、出没している場所に近づかないことが重要である。山菜採りや登山などで熊の生息する場所に入る方は遭遇する危険性を認識した上で対応しているものと考えていることから、市民への熊鈴の配布

は考えていないが、引き続き、目撃情報の周知や注意喚起に努めていく。
教育長 熊に遭遇しないためには、児童生徒を目撃場所や生息域に近づかせないよう指導することが重要である。平成24年度から小学校新1年生に「安全笛」の配布を行っているほか、ランドセルの中には、防犯ブザーが付属しているものもあり、各家庭においても対策が講じられているものも認識している。このことから、全児童生徒への熊よけを目的としたホイッスルの支給は考えていないが、今後も引き続き、学校と連携し、児童生徒の安全確保に努めていく。

自衛官の募集と
防衛高校の誘致

問 ①災害などから最前線で、国民を守る自衛官を確保するためには、市が名簿を自衛隊地方協力本部に提供することは私自身賛成だが、市の見解を伺う。②市は、自衛隊の体制強化について防衛省にどう要望していくのか。③昨年9月、私の質問で、市は、市立高校の設置、私立高校や防衛高校の誘致は難しいと回答したが、その後、日本航空高校北海道が開校することとなった。今一度、自衛隊と共存する街として防衛高校の誘致を検討すべきと考えるが、所見を伺う。
答 市長 ①本市は70年余りの長きにわたり、自衛隊と共存共栄するまちづくりを進めており、自衛官の充足率の

向上は、喫緊の課題であると認識している。自衛官募集にかかる情報提供については、今後も法令に基づき、丁寧かつ適切に対応していく。②防衛省には、北方の守りの重要性とともに、道内部隊の体制強化や新編部隊の配置、自衛官の処遇改善などを強く要望している。今後も、北海道および本市の自衛隊体制強化や充足率の向上を求める活動を積極的、かつ精力的に行っていく。③昨年12月に閣議決定した防衛力整備計画において、現在の陸上自衛隊高等工科学校を、令和9年度までに陸海空共同化、および男女共学化に向けて体制を整備することが定められていることから、学校の要望は考えていない。

な世帯を対象とし、直近3年間の登録世帯数は何件か。②除雪の範囲については玄関から公道までが基本だが、車は運転できるが除雪をする体力がない人、落雪や大きな雪なら、ストーブの排気口が雪で塞がった場合などの対応はどうしているのか。③町内会のボランティア、シルバー人材センター

が扱った件数は何件か。④町内会の有志ボランティアに対する経費や謝礼については互助有償ボランティアとも考えられるが、本市は一冬7千円、札幌は2万1千円と聞く。降雪量やその他条件も異なるが助成額の検討の余地はあるのか。
答 市長 ①対象世帯は、身体障がい者のみの世帯や

ひとり暮らし高齢者または高齢者夫婦世帯等で除雪の際に労力等の確保が困難な方としている。登録世帯数は、令和2年度596世帯、3年度594世帯、4年度634世帯となっている。②公道に通じる通路及び火災等の緊急避難に支障となる箇所など、必要最小限度の範囲となっている。

保健福祉部長 一昨年の大雪の時には、排気口周辺に雪がつもり危険であったため、一時的な対応として、消防などが除雪を行った例はあるが、原則、範囲に含まれていない。
市長 ③令和4年度は、町内会464世帯、6685回、シルバー人材センター167世帯、353回とな

っている。④東部地区をはじめとした郊外地区では、本年度から1万円に増額しており、今後にも必要に応じて見直しをしていく。

**農福連携の
取り組み強化**

問 農業の現場で障がいのある人が働く農福連携について道が支援体制の充実に

本腰を入れている。道内では約180箇所の障がい福祉事務所が参画している。道が6月に初めて開校したのが、農林水産省が認定する農福連携技術支援者の育成研修だ。道は認定された支援者をこの冬にも農福連携の現場に派遣する。①この農福連携技術支援者は本市に対して派遣されてくる

のか。②本市では農福連携に取り組んでいる知的障がいや精神障がいの事業所はあるのか。③障がいの就業所や支援について市は事業所やませみに委託しているがより一層のこ入れをすべきと考えるが所見を伺う。

答 市長 ①農福連携技術支援者の派遣は、農福連携を現場で実践する手法を具体的にアドバイスする専門人材を派遣するものである。今後、通知があった場合には、関係者に対して周知、活用を促していく。②13事業者が農福連携に取り組んでおり、除草や収穫、袋詰めなどの作業を実施しているほか、セミナーや視察研修、体験会に延べ62事業者が参加し、事業の検討を始

めている。③自立支援協議会のはたらく部会が主体となって、農福連携に関するセミナーの開催や視察研修、マッチングのための顔合わせやフォローアップ、制度の周知などさまざまな取り組みを実施しており、今後も、情報発信の強化に努めるなど、より一層、農福連携を推進していく。



無所属
松隈 早織 議員

実効性のある千歳市地球温暖化対策実行計画に向けて

問 地球温暖化の影響による異常気象が本市においても発生している中、市は現在地球温暖化対策実行計画の策定中である。この計画では温室効果ガスの削減目標を2030年度までに46%、2050年までに実質ゼロとすることとしているが、ラピダス社の工場立地が急に決定し、量産開始後は道内電力の1〜2割となる60万キロワットの電力利用を想定

していると報道で伺っている。ゼロカーボンに与える影響は計り知れないほど大きい。地球温暖化対策に資する「実行性のある計画」にしたい。ラピダス社や関連企業の影響が明らかになった際には、すぐにも計画の見直しを行うべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 市長 ラピダス社および関連する企業の立地により、市内のエネルギー消費量は増加することが見込まれているが、ラピダス社からは「グリーン化は重要なテーマであり、省エネに最大限取り組んでいく」と伺っている。しかしながら、現時点では、ラピダス社および関連する企業の立地による排出量の変化を把握することは困難

であることから、今回の計画には立地による変化を見込んでいないが、今後、本計画の進捗管理を行っていく中で、関連する企業による排出量の変化が明らかになった際には、必要に応じて計画の見直しを検討していく。今後も、千歳市の美しい自然環境を後世につなげられるよう、市民や事業者の皆さんと地球温暖化への危機感を共有し、一体となって脱炭素社会の実現を目指していく。

って苦しんでいる家族がいるのではないかと。老々介護、8050問題、ヤングケアラーという課題が潜んでいるのではないかとという疑問がある。こういった課題を発見できる効果的な調査が必要であり、他市町村では実施して施策につなげている。千歳市も介護サービス利用率向上のための具体的な施策を策定し、KPIを設けるなど、成果が見える第9期計画書を作成していただきたいが、市の考えを伺う。

**介護サービス利用率
向上に向けて**

問 現在、第9期介護保険事業計画策定中であるが、千歳市は7期8期と要支援・要介護認定者の介護保険サービスの利用率が低く、それに

サービスを利用することができるよう家族介護者への支援や相談体制の充実、制度の周知・啓発を第9期計画においても継続して実施していくほか、要支援・要介護認定者の介護度の分布状況等を注視しながら、必要な対応について検討していく。また、8050問題やケアラーなどの課題に対応するため、本計画では、地域住民や地域の多様な主体がつながり、誰もが支え合う地域を創っていく地域共生社会を目指し、複合・複雑化した支援ニーズに対して、関係部署・関係機関との連携を強化することで、行政の垣根を越えた支援体制の整備を行う重層的支援体制整備事業の実施に向けた検討を進めていく。



医療体制の拡充

問 新年度からの市民病院脳神経外科での急患受け入れ、入院、手術の一時休止が公表され、市民の不安も一層高まると憂慮する。人口が減少傾向であるならともかく、本市のように人口増加を目標に掲げているまちの現状としては非常に心もとない。いざという時に市民の生命を守る医療体制の確立や救急救命システムの充足は必然であり、市民

満足度に直結する最も重要な行政課題でもある。市長の責務として、市民の生命を守る医療体制の拡充について意欲を伺う。

答 市長 医療体制の確保については、北海道医療計画において、がん、脳卒中、心血管疾患、糖尿病、精神疾患といった5疾病および救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療の5事業等について医療連携圏域を定めるなど、医療圏域ごとの体系的な整備が図られている。医療に関する提供体制の確保には、全国的な医師確保の困難性や社会情勢に伴う医師の働き方改革などさまざまな課題があるが、ラピダス社の進出など、今後本市の人口増加が見込まれるこ

とを踏まえ、市内の限られた医療資源を最大限活用すべく、千歳医師会をはじめ関係機関との連携を図り、地域の基幹病院である市民病院を中心とした医療体制の充実に努めていく。

半導体関連教育の充実

問 ラピダス社の進出により、今後恒常的に理系人材の需要が見込まれる中、地元自治体として、採用条件に見合う能力の高い人材を育成することは必然の責務である。来年度から道内4つの高等専門学校が半導体専門科目を新設し、北海道大学等でも、半導体分野の人材を育成強化する動きが公表されているが、①本市

では公立千歳科学技術大学が貢献できる余地はないか。②工業系の高等教育機関を新たに誘致するような動きはないのか、今後の可能性について意欲を伺う。

答 市長 ①科技大では、学部において、半導体基礎、半導体デバイスなど、半導体に関する科目を設けており、来年度から、学部生の入学者・進学者向けのガイダンスにおいて、カリキュラム上の半導体関連科目を周知し、学生の半導体への興味関心を促し、履修学生の増加に努めることとしている。大学院では、高度情報人材・DX人材の育成に寄与するため、大学院博士前期課程の入学定員を増加することを検討しており、

必要となる施設・機器の整備や組織の拡充を図ることとしている。また、科技大は国が主導して設置した北海道半導体育成等推進協議会にも参画していることから、行政機関、産業界、教育機関と情報を共有し、連携して、半導体産業が求める人材育成に取り組んでいく。②現在、科技大において半導体人材育成の取り組みを進めているところであり、今後少子化が進み、若年人口の減少が想定される中において、新たな工業系の高等教育機関を誘致する考えはなく、科技大の教育力、研究力の更なる向上により、半導体関連産業が求める人材の育成に貢献していく。



有機フッ素化合物PFASについて

問 ①最近、水の汚染で話題にあがる、4700種を超え

るPFASだが、中でも今年11月に使用が禁止されたPFHXSを、水質管理基準があるPFFOAとPFOSと合わせ、水質管理項目に追加してもらいたいかがか。

②第3回定例会で、市はラピダス社が使用するPFASを特定する予定はないと答弁した。PFAS全ての製造を中止する大手企業もあり、

全てのPFASに危険性が否定できない以上、ラピダス社が使用するPFASを特定し、モニタリングすべきと思うかがか。また、市が情報を得られないのなら、道に協力を仰ぐべきと考えるかがか。③情報を得る必要性はあるとは感じないのか所見を伺う。

答 市長 ①国は水道水の水質に関する要検討項目にPFHXSを追加し、情報や知見の収集を行っているところであり、現在、数値による評価ができないことから、検査項目に加えることは考えていない。今後、水質管理目標設定項目に追加された際は、迅速に対応していく。②市は、環境基本法に基づ

く、水質汚濁に係る要監視項目のPFOSとPFFOAなどの物質を調査しているが、基準値が定められていない物質を調査項目に追加することは、現時点では考えていない。また、道とは、環境保全やモニタリングなどについて、常に連携し対応しているところであるが、ラピダス社が製造や機密に関する部

分となる化学物質の使用状況を公表することは難しいと考えることから、道がPFASの使用状況を把握することは難しいと考えている。

市民環境部長 ③当然、必要な情報についての収集は、法令に基づき行っているが、企業の秘密情報に関する部分については難しいと考えているため、市も道も把握する



胃内視鏡検診クラウドシステムの導入

問 胃がんの胃内視鏡検査受診は年間500人近くおり、現状、莫大な読影画像のチェックなど煩雑な作業工程や個人情報漏洩対策などから、がんのような重篤な病気が発見されても患者への説明が遅れてしまうリスクがある。市内の医療環境を持続可能なものとし、市民の健康と生命を守るためにも、医師や医療現場の疲弊を緩和していくことも必要であ

ことや公表することは難しいと考える。

ラピダス社に関する情報について

問 ①ラピダス社が使用する水は、市民が使用する量の約6割、電気は道民が使用する1〜2割を使用することのだが、それを知っている誘致したのか。②そ

り、市が推進しているDX化の一環として胃がん内視鏡検診の二次読影クラウドシステムの導入を提案するが、市の所見を伺う。

答 市長 胃内視鏡検診クラウドシステムは、胃内視鏡検査の二次読影に係る画像や書類を、クラウドを活用し共有できるシステムのことであり、導入により、作業の削減や二次読影医の診療の都合にあわせて読影業務を実施することが可能になるなど、胃内視鏡検査に従事する医師の負担軽減が期待できることのほか、検診受診者に結果を早く伝えることができるかと考えている。医師の負担を軽減することは、市の保健事業体制を維持することにつながることから、胃内視

れに伴い市内での太陽光発電施設はどれだけでも進められてよいと考えているのか。また、昨年一度中止となった大規模風力発電についても、今後受け入れる可能性はあるか。③環境審議会でも話題にあがった原子力発電の稼働については、どう考えるか市の見解を伺う。

答 市長 ①本年2月の立地

鏡検診クラウドシステムの導入について検討していく。

地域資源を活用した観光施策

問 本市で行われるイベントや大会を一過性のものにならず、宣伝効果や話題性を活用し、多様性に富んだ持続可能な観光資源にすべきと考える。①ATWSの検証結果と今後の活用と取り組みについて伺う。②夢ある、空のまち千歳を印象付ける仕掛けとして、空飛ぶクルマの実現に向けて空港開港100年記念事業での活用と、今後の展望について伺う。③プロگرامミングなども含まれるeスポーツなどは理工系の学生の育成や若い世代への半導体産業等

表明に至るまで、本市からは、千歳美々ワールドに関する産業インフラや周辺環境について、ラピダス社からは、水や電気の使用量を含む計画の概要やスケジュール等について、意見交換を行った。②太陽光発電や風力発電の設備設置は、資源エネルギー庁が事業計画策定ガイドラインを制定しており、関係

に対する理解の育成の場としても有効と考えるが、今後の取り組みについて伺う。

法令の遵守や地域住民との積極的なコミュニケーションの醸成、防災や環境保全、周辺環境への十分な配慮などについて規定されており、事業者がガイドラインを遵守した上で適正に対応しているものと認識している。③泊原子力発電所の再稼働については、国として判断されるものと認識している。

答 市長 ①ATWS北海道実行委員会によるアンケート結果では、英語対応による受入態勢の整備やガイド人材の育成が喫緊の課題で、ターゲットとする国の旅行会社等への情報提供の重要性や、他の地域と連携したプログラム提供の必要性が課題に挙がっている。今後は新千歳空港を有する地理的な優位性のある本市としては、経済波及効果が高く、欧米の富裕層を中心に広がりを見せるATを重要視していく。②

空港開港100年記念事業で空飛ぶクルマを市民に披露することは、空のまち・ちとせの未来を連想される記

憶に残る印象深いものとなることが期待されることから、検討しているところであり、関係者の協力を仰ぎながら実現に向けて取り組んでいく。展望については、国や業界の動向を注視しつつ、情報収集に努めるとともに、セミナーやシンポジウムなどを継続して開催するなど、市民理解の醸成と社会受容性の向上を図り、社会実装に向けて取り組んでいく。③若い世代を中心に競技人口が増加しているeスポーツは、本市への誘客拡大の手段の一つであると認識している。本市は、引き続き、民間事業者等の自発的な取り組みを支援し、関係団体等と連携しながら、eスポーツの普及に努めていく。



自民党議員会
渡部 謙太郎 議員

既存工業団地のさらなる利活用

問 市は新たな工業団地を造成する方向性を示しているが、既存の工業団地も、これまで以上に利活用されるべきである。①市内の各工業団地においては、公共交通による通勤手段がないことにより、企業にとつては雇用機会の損失が起きていると考えるが、市の認識と課題解決のための取り組みを伺う。②市内工業団地において臨空工業団地のみ

建ぺい率40%（他の工業団地は60%）であることから、段階的な緩和をすべき時期になってきていると考えるが、所見を伺う。

答 市長 ①本市は、市内路線バスが経由する工業団地が多い一方で、公共交通機関の経路からは比較的距離のある工業団地も存在している。これまで数度にわたり、公共交通機関の路線変更や民間企業同士の協業による送迎バスの運行などについて検討した経緯があるが、勤務時間やシフトの相違、運転手の確保が困難であることなどにより、結果として実施が見送られている。市としては、通勤や交通混雑などの課題解決に向け、他の地域における先進的な取り組みに関

する調査のほか、IoTやAIの活用による新たな交通網やモビリティ、高レベルの自動運転循環バスなど次世代技術の社会実装についての情報収集に努めていく。②臨空工業団地は、立地企業からの施設拡張の相談や社会情勢の変化による昨今の工場立地動向を踏まえ、製造業や先端技術産業などの産業集積を図り、土地の有効活用を促進するため、現在、建ぺい率の見直しについて検討を進めている。

半導体分野への人材育成と科技大の機能拡充

問 半導体産業に関連する人材育成は道内でも急務となっている。科技大の機能強化を一段と加速し、半導

体やDXの分野の人材育成へとつなげて欲しい。①科技大は、数理データサイエンス教育を先進的に取り組んできたが、さらにその取り組みを進め、体系的な半導体・DXに関する教育を行うためのカリキュラム変更や新たな教育システムの導入が必要であると考えるが、所見を伺う。②半導体研究に関する大学内の組織や機能の拡充について、所見を伺う。

答 市長 ①今後、3学年から「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」をベースとし、データ科学、人工知能、メディア処理論、ネットワークシステム、デジタルシステム設計論などを教育する「基礎DXプログラ

ム」を、また、大学院においても学部プログラムに合わせ、博士前期課程に「応用DXプログラム」、後期課程にはさらに高いレベルの「高度DXプログラム」を学生に提供する予定である。②科技大ではラピダス社の立地に伴い、来年4月に「仮称」半導体リサーチセンター」を学内に設置する予定と伺っており、光・AIなどの分野と半導体の分野を融合させた新たな研究テーマに取り組みなど、半導体研究の機能拡充を図り、ラピダス社をはじめとする半導体製造企業や関連企業など、地域の産業発展に貢献していきたいと考えている。

その他の質問 ・アルカディア・プラザの利活用



自民党議員会
北原 偉男 議員

災害発生時の地域コミュニティの重要性

問 町内会等の地域のコミュニティは、災害発生時の

共助のために大変重要だと考える。防災の観点から次の2点を伺う。①地域防災訓練は、町内会等が地域の住民の命を救うために必要な事項を考えて訓練し、その成果を発信している。市では、これらの活動の規範となるようなもの、行動を示すようなものは作成していないのか。②共助による

人命救助のためにも町内会への加入促進は必要だと考えるが、市の所見を伺う。
答 市長 ①市は、避難所開設・運営マニュアルを策定したほか、地域防災リーダー養成講座や出前講座などで、地域における災害特性や避難時行動の留意点等について周知を行っている。災害発生時の行動をまとめ

たマニュアル等は作成していないが、防災ハンドブックの改定に併せて、内容の充実を図りたいと考えており、引き続き、地域コミュニティにおける防災活動の体制づくりを支援していく。②災害発生時には、町内会加入の有無に関わらず、共助の考え方が非常に大切なことから、防災の観点から

焼却施設の周辺の道路と横断歩道の安全対策

問 ①新たな焼却施設運用

も、地域コミュニティへの理解が広まるよう、自助の意識啓発に努めるとともに、地域コミュニティによる共助の重要性について、さらなる浸透を図っていききたいと考えている。

開始に伴い、「燃やせるゴミ」の増加が予想されるが、どれくらいだと想定しているのか。②それに伴い、焼却施設周辺の交通量が増え、信号設置及び道道967号の路面整備など道路整備が必要だと考えるが、道にどのような要望をしているのか。③学校周辺やスクールゾーンにある押しボタン

式信号機が設置された横断歩道の中には、運転手の信号無視が散見される上、最近では事故が発生した場所もある。市ができる対策はないのか。

会へ要望を行っており、市道根志越長都線の交差点は、千歳警察署から、信号機の設置は難しいという見解が示されたところである。このため、組合は、拡幅整備により、交差点の見通しの確保を図ったほか、案内看板を設置している。道道967号は本年7月、地域の方々からの要望を受け、

道に対し、早期の道路補修について、要請したところである。道に確認したところ、特に路面状態が悪い、長都大橋から高速道路の間など約526mの道路補修工事を発注したところであり、来年3月末までに完了する予定と伺っている。③市が実施可能なドライバーに向けた注意喚起は、横断

歩道や右左折帯、交差点付近への着色やイメージハンブ、路面標示のほか、警戒標識や注意喚起看板の設置などがあるが、場所によって対応が異なることから、どのような対策が適しているか、地域や学校からの要望や警察などの意見を伺いながら、対応策を検討していく。



救急車の出動状況と救急隊の編成

問 救急車の出動件数は、令和5年11月までで既に約4300件、人口増加や高齢化の影響で、今後も増え続けると考えられる。①本市の救急隊1隊の編成は3名だが、どのような資格者が何人乗車するのか。②向陽台出張所と支笏湖温泉出張所は、消防隊との兼務であり、出動の増加による地域への影響を心配しているが、出動が重複した場合に

ついて伺う。③救急隊は2万人に1隊が基準で、人口の増加や高齢化など、救急隊の需要は益々増える。救急隊を4隊から5隊に増やす時期にきていると思うが、考えを伺う。④国が示す基準は1隊4名の編成としているところ本市は3名で運用しており、消防力の整備を適切に進めていくべきと思うが、市長の考えを伺う。

答 市長 ①消防学校の専科教育救急科の課程を修了した消防吏員や救急救命士等の資格を有している消防吏員とし、1台3人以上とすることが、消防法などにより定められている。②向陽台出張所および支笏湖温泉出張所は、出動中の場合、別の消防署所から出動し、各種事業に

対応している。③救急車の出動件数は、既に昨年を上回っており、救急需要はますます増加することが予測されることから、国が示す消防力の整備指針の基準を踏まえ、消防を取り巻く環境や実情を総合的に勘案しながら救急隊の整備を適切に図っていく。④消防力の整備指針では、消防車両等の種別ごとに運用に必要な人数を基準化している。本市は、1台あたりの隊員の数を3人としているが、複数の消防隊の連携や活動の効率化など現場活動に最善を尽くしている。

道工事を実施しており、市内の工事業者も大変多忙な状況である。今後はラピダス社の排水処理のため、ポンプ場整備や9.5kmの下水道管整備、浄化センターの設備増強なども計画されている。一方で現在、取り組んでいる水道管の耐震化工事の方に影響が生じるのではないかと懸念している。①水道管の耐震化工事の総延長距離と現在の進捗状況を伺う。②水道管の耐震化工事は、計画通り進めることができるのか。また、どのように進めるのか。③市内工事業者もラピダス社の関連工事があり大変多忙だが、今後も引き続き市内工事業者への発注を継続していただきたいが所見を伺う。

水道管耐震化工事の進捗状況

問 ラピダス社の試作ライン稼働向け約4.7kmの上水

答 市長 ①耐震化工事の総



自民党議員会
岩満 順郎 議員

新たな焼却施設と ごみの分別区分の変更

問 今回、2市4町合同で開設する「道央廃棄物組合焼却施設」は、焼却炉の能力が現在の施設よりかなり能力が高く、今まで燃やせるごみとして出せなかった家庭ごみが出せるようになる。と伺っているが、①家庭ごみの分別区分はどのように変更となるのか伺う。②新施設についての住民説明会を行っているが、どこで何回開催したのか。また、

参加人員数はどのくらいだったのか伺う。③私自身も北新コミュニティ協議会地区における説明会に参加したが、地域の特性によりさまざまな課題があると思うが、説明会ではどのような質問があったのか。また質問や意見などに対する検討事項はあったのか伺う。④現在、焼却後、焼却炉内に灰が残り、その灰を美々の最終処分場に運んで埋めているが、今回の施設は、美々から約10km離れており、焼却灰の処分はどのように処理するのか。⑤今後も30年間現在と同じ方法で処理するのか。私は新施設の近くに新たに最終処分場を新設する必要があると考える。今回の新施設開業にあたり、

直接搬入する場合、燃やせるごみは根志越へ、燃やせないごみは美々の環境センターへ運搬することになり、非効率だとも感じるが、今後、美々の破碎処理場や最終処分場の検討について市の見解を伺う。

答 市長 ①新たな焼却施設は、環境センターの焼却施設より、焼却炉の性能が向上しており、現在、燃やせないごみに区分している「容器包装以外のプラスチック類」や「革・ゴム製品」などについて焼却可能となるため、来年4月以降は、燃やせるごみに変更する。②新たな焼却施設の概要や家庭ごみの分別区分の変更について周知を図るため、説明会を10月17日から11月15日まで、各コミュニティ

センターなど市内13会場で、計14回開催し、延べ156名の参加があった。③「来年4月からゴミ袋の料金が変わるのか」、「焼却施設が環境に配慮された施設であることをPRした方が良いのでは」などの焼却施設移転に伴う質問や意見のほか、「汚れの取れないプラマークの付いているものは燃やせるごみで良いのか」、「ごみステーションは町内会が管理していることを周知してほしい」など、ごみに関する一般的な質問や意見があり、これらに対する回答については市ホームページなどに掲載する。④焼却処理後に発生する焼却灰は、搬入したごみの量に応じて、各構成市町で処理することとし、本市は、環

境センターの最終処分場に埋立処分することとしている。⑤本市は広域的な環境負荷の低減やごみ処理コストの縮減を目的に広域化することとしている。破碎処理施設の広域化は具体的な検討は行っていないが、最終処分場については、令和16年度を目標として整備の検討を進めているところである。昨年度、候補地選定のため、浸水想定区域や保安林など、立地が困難な地域を絞り込むための立地困難区域図を作成し、本年度はこの区域図を基に立地可能な地域の基礎資料を作成しているところである。今後も組合や構成市町と連携し、効率的かつ安定的なごみ処理について検討していく。



自民党議員会
松倉 美加 議員

美味しい・楽しみだと 思える給食への対応

問 毎年開催している議会と中学生との学習交流会で

毎回「給食を美味しくして欲しい」という意見が挙がってくる。以前、議会でも北広島市の給食を食べに行っていたが、自校式の給食は味付けには手作り感があり、見た目の彩りもよく、美味しい給食だった。栄養摂取基準は定められているものの地方での裁量の幅もあるので、子どもたちが給食を

楽しみだと思ってもらえるように改善してほしい。①彩りの工夫はどのようにしているのか。②野菜にかける調味料を持参することを認めてほしいとの意見もあった。学校給食には1食分の塩分濃度が決まっていると思うが、どこまで遵守する必要があるのか。美味しいと喜んでくれる兼ね合い

をどう考えているのか。③食育の観点から、スプーンから箸に替えた方がいいと考えるが、今後の対応について伺う。

答 教育長 ①彩りの工夫は、野菜の色が残るよう火を通しすぎないようにすることや汁物には葉物野菜を使用し、彩りを豊かにするよう献立の作成に努めている。冬季限定となるが、フルーツ缶を使った献立の提供により、見た目にも美味しいと思える給食を実施しているところである。②学校給食は、学校給食摂取基準に定められたタンパク質や脂質などの栄養量、塩分などの摂取量をもとに献立を作成している。このため、献立全体の塩分量を計算し、味付けを確認した

上で、調味料を添付しない場合がある。味と栄養についての考慮や美味しいと感じることは大切であると考えており、今後、献立全体のバランスとともに、調味料等の提供についても配慮していく。
③現在の給食センターには箸の洗浄・消毒設備がないことから箸の提供ができないため、児童生徒に持参をお願い



公明党議員団
今野 正恵 議員

子ども主体の施策推進

問 子育て施策を先進的にやっている本市であるが、これからは更なる先進的な取り組みとして、未来の宝である子どもたちの意見を取り入れ、子ども主体の施策推進が求められるのではないかと考える。このような施策推進に対しての市長の所見を伺う。
答 市長 子どもたちが将来に夢や希望を持ち、その達成に向け気持ちを高める機会

いしている。今後も食育の観点から箸の持参の徹底をお願いする。

空港開港100周年における市民還元型事業の実施

問 令和8年で空港開港100周年を迎える。この記念すべき節目に記念事業を検討しているとのことだが、記念事業の1つとして、

を支援していくことや、そのきっかけを作っていくことは、子どもたちへの関わりとして、大切なことである。また、まちの将来を担う子どもたちが主体となってまちづくりを考えることや、実現の達成感を味わうことは、まちの活力の源である人を育て、千歳に愛着を持ってもらうという観点からも、重要なことであると考えている。取り組みの一つとして、本年、市民協働事業により、子育て情報を発信しているSNSのイメージキャラクターを公募したところ、多くの子どもたちを含む120件の応募があり、現在さまざまな場面で用いているところである。また、「子ども主体の施策の推進」とは、常に子どもの視

過去に実績のある、千歳市民に航空運賃を助成する事業を加えてはどうか。空港開港100周年だからこそ、千歳に住んでよかったと思える事業として、市民への還元型事業となる航空運賃助成事業の実施について所見を伺う。
答 市長 先人の偉業や「スプリット・オブ・チトセ」

の精神を継承していくことは、今を生きる私たちの使命であると考えており、この100年記念事業は、記憶に残る印象深いものとし、空港があることの誇りを後世に伝えていきたい、そのように思いで、この事業を進めていきたいと考えている。その意義も踏まえながら、「千歳に住んでいて良か

った」と、「空港があるまち」を誇りに思う契機となるような事業について、航空運賃助成事業も含め、幅広い観点から検討していく。
その他の質問
・路線バスドライバー不足対策に、退職前自衛官へのバス運転体験会の開催についてなど

点に立ち、子どもに関する取り組みや政策を社会の真ん中に据えていくことであり、私は、全ての子どもが大切にされ、社会全体で大事に育んでいくことは、子ども本人の育ちや福祉といった観点はもとより、本市が持続して発展するうえでも大変重要なことであると考えている。このことから、子どもの意見や考えを尊重する「子どもとともに」との視点をもって、引き続き、「子育てするなら千歳市」として、次代を担う子どもたちが、色々な選択ができる社会の実現に向けて全力で取り組んでいく。

HPVワクチンのキャッチアップ接種

問 令和4年度にHPVワ

クチンの積極的勧奨が再開され、合わせて積極的勧奨差し控えの影響を受けた世代に対してもキャッチアップ接種が開始されたが、これは令和6年度末までの期限措置となっており、期間内には3回接種を完了するためには令和6年9月末までには1回目の接種を開始する必要がある。①キャッチアップ接種最終年度である令和6年度には、接種期限を迎える高校1年生から27歳相当の未接種者全員に対し、最終期限お知らせ通知を送るべきと考えるが、本市はいつどのような内容で実施するか伺う。②対象者の不安を払拭する啓発をキャッチアップ期間内に行うべきと考えるが、市は接種

率を上げるためにどのような周知・啓発を行うのか。
答 市長 ①令和6年度はキャッチアップ接種実施期間の最終年度となることから、キャッチアップ接種を受けていない全ての方に対して個別通知を実施し、年度当初に発送を開始するよう取り組んでいく。通知の内容については、キャッチアップ接種は公費で接種できることや、ワクチンの有効性・リスクに関する情報など、接種を検討するための情報提供となっている。②接種対象者や保護者により関心をもってもらうことが重要であり、広報とせや市ホームページ、SNS等を活用し、接種に対する不安の軽減につながるよう、周知に努めていく。

J R長都駅前への 「交番設置」 を要望しました

11月13日(月)に、坂野議長、五十嵐副議長、飯田厚生環境常任委員長および今野同副委員長が、品田副市長とともに千歳警察署を訪問し、平成26年から通算で10回目となる「J R長都駅前への交番設置を求める意見書」を、戸城千歳警察署長に手交しました。その後、北海道警察本部を訪問し、中村地域企画課長に「同意見書」を手交し、改めて、早期の交番設置を強く要望しました。



千歳警察署

戸城署長に意見書を手渡す坂野議長
左から、今野副委員長、戸城署長、坂野議長、五十嵐副議長、飯田委員長



北海道警察本部

中村地域企画課長に意見書を手渡す
坂野議長
左から、五十嵐副議長、中村地域企画課長、坂野議長、飯田委員長、今野副委員長

空き家の現状と 相談体制



公明党議員団
仲山 正人 議員

問 近年は、長期間使用されない住宅や建築物等が老朽化などにより、倒壊等の危険性が指摘される空き家が増加し、防犯面も含め社会問題化されている。国は、空き家対策の一層の推進の必要性から、本年6月に空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律を公布、12月13日に施行され、空き家問題の改善が期待される。そこで当市

の①空き家の現状、②空き家所有者への相談体制について伺う。

答 市長 ①本市では、半年ごとに水道の閉栓情報を調査しており、閉栓数から推計した空き家数は、令和5年6月現在、4093戸で、前年12月より727戸の減となっている。内訳は、戸建て住宅384戸、賃貸アパート等2473戸、店舗385戸、その他、公宅や社員住宅などが851戸となっている。②空き家に関わる相談の内容は、防災・防犯、衛生、景観など多岐にわたることから、窓口を市民生活課に一元化し、空き家等が適切に管理されるよう必要な措置を推進するため、庁内関係課で組織する「空家等対策委員会」を

問

11月中旬に千歳警察署

J R長都駅前への 早期の交番設置

設置するとともに、相談内容に応じて、建築や環境などの関係部局や不動産関係団体との連携により対応している。主な取り組みとして、空き家の所有者に対し、利活用の方法や、各種相談先を取りまとめた「空き家ガイドブック」のほか、解体費用の見積りや土地・建物の査定・売却などに役立てていただけるよう、「市内不動産事業者の一覧」を送付するほか、司法書士、宅建業者、建築業者に相談できる機会として、道が実施する「北海道空き家相談会」の開催についても周知を行っている。

答 市長 本年の交番設置要望は、11月13日に千歳警察署および北海道警察本部に伺い、副市長から要望書を、市議会議員から意見書の提出を行っている。警察からの回答としては「交番の設置には至っていないが、長都駅前地区は、新興住宅地として宅地造成が進み、これに伴い人口

も増加傾向にあることから、長都駅前地区の管轄である新富交番の定員を1名増員しているほか、駅前・住吉南交番と千歳警察署のパトカーが連携をして、パトロールや緊急事案にあたるなど、体制強化に努めている。」と伺ったところである。当該周辺地域における人口の増加は、千歳警察署および道警本部でも認識しており、引き続き、交番の新設について検討するとの回答も得ていることから、私としても、長都駅前交番の設置については、長年にわたる地域の方々の切なる願いであると考えており、一日も早く実現するよう、今後も市議会等と連携しながら、粘り強く要望活動をしていく。

向陽台中学校との 交流学習会を開催しました

令和5年11月20日(月)に千歳市立向陽台中学校の3年生のみなさんと交流学習会を開催しました。

この学習会は、若者の政治・社会参加を促す機会の創出を目的として、平成29年度に勇舞中学校において交流学習会を開始し、昨年度は東千歳中学校と北進中学校で実施しています。

学習会では、市議会の仕組みや議員の仕事内容を紹介し、その後、3つの常任委員会にわかれ、生徒たちがグループごとにプレゼンを行いました。それに対し議員が千歳市の現状や施策についての説明、質問や感想を述べるなどの意見交換を行ったほか、給食の時間には、生徒たちと一緒に給食をいただくなど交流を深めました。



【プレゼンの内容】

総務文教常任委員会では、人口増加対策をテーマに SNS を活用した千歳市の PR やおいしい学校給食などの提案があり、また、厚生環境常任委員会では、少子高齢化対策をテーマに子どもと保護者が一緒になって楽しめる施設や繰越金を活用した子育て支援などの提案、産業建設常任委員会では、産業振興をテーマに美味しい水を活かした農業やレラ周辺の都市開発、向陽台地区の活性化などの提案がありました。



【生徒たちの感想】

- ・交流ができて良い体験になりました。
- ・僕たちの作ったスライドにとっても深く考えてくれて、意見なども出してもらい、産業振興についてさらに興味がわいてきました。そして、選挙率が半分もいっていないことに驚きました。
- ・自分が18歳以上になったら絶対に選挙に投票しようと思った。
- ・とても緊張しました。市議会や議員の方々が私達の意見に真剣に向き合っていて、うれしかったです。
- ・市議会は遠い存在で、市議会の中だけで政策を考えているのかと思っていましたが、今回の学習を通して、私たちのような中学生の意見を取り入れて考えてくださっていることがわかりました。



～議員学習会～

令和5年12月4日(月)に(株)廣瀬行政研究所代表取締役 廣瀬和彦氏を講師にお迎えし、【議員報酬について】をテーマに議員学習会を開催しました。この学習会は、議会改革の取り組みの一つで、議員力の向上を目的としており、今回で11回目の開催となりました。当日は、21名が参加し、今後、議論を進めていく上での情報として「議員報酬の法的根拠や議員定数・報酬の現状、他市町村の取り組み」などについて研さんを深めました。



第11回市民の声を聴く会を開催します

市議会議員と「ちとせの未来を語ろう！」

市議会議員とちとせの未来のまちづくりについて話してみませんか？

第11回市民の声を聴く会では、昨年同様に第1部で市議会の役割や千歳市の概要を説明します。その後、ちとせの未来についてフリートークを予定しています。

学生を中心とし、広く市民の方にも気軽に参加できる内容としていますので、みなさんのご参加をお待ちしています。

【日時】

令和6年2月21日（水）
16時00分～（15時30分開場）

【場所】

まちライブラリー@ちとせ
千歳駅前東口広場アルファ千歳ビル1階

【申込】

不要です。当日は、直接会場にお越しください。
※席の都合上、受付を終了させていただく場合があります。

《問い合わせ》 千歳市議会事務局

電話：24-0773 または 24-0793
メール：gikaisomu@city.chitose.lg.jp

※写真は、昨年のグループトークの様子です。



議会事務局からのお知らせ

★議会の予定

令和6年第1回定例会は、3月1日（金）に開会する予定です。
正式な日程は、議会運営委員会の決定をホームページや市公式SNS、ポスターでお知らせします。

★ホームページのご案内

会議の出席状況や、議会だよりで掲載している以外の質問などもご覧になることができます。
ぜひアクセスしてください。

★表紙を募集しています！

市議会だより（年4回：2・5・9・12月発行）の表紙を飾る写真や絵、イラスト等を募集しています。千歳の四季や季節の行事をイメージできるものがありましたら、ご応募をお待ちしています。

（問い合わせ）

千歳市議会事務局 総務課 調査係
TEL 0123-24-0791（直通）
E-mail: gikaisomu@city.chitose.lg.jp

★点字・音声版市議会だより

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容を点字・録音したものを作成しています。

希望される方は、点字図書室までお問い合わせください。



（問い合わせ）

千歳市総合福祉センター2階
点字図書室 TEL 0123-27-3921

編集後記

千歳市議会は、開かれた議会でありたいと思っています。そして、ちとせ市議会だよりは、市民の税金によって刷られるものから、市民の情報の糧でありたいです。

議員にとつては、大切な情報発信の場となっており、字数制限に苦しみ、なんとか内容を要約した、努力の結晶です（地味な結晶ではありますが）。どうか、お手にとつて、ご覧ください。きっと、あなたが気づいた市政への問題点を、取り上げている議員がいます。ぜひ、見つけて応援してください。

いつもこの編集後記まで読んでいただいている皆様、本当にありがとうございます。

（編集委員 相沢 晶子）

議会報編集委員会

委員長 大山 益巳
副委員長 吉谷 徹
委員 安部 優雅
平川美由紀
相沢 晶子

市議会だよりは、植物油インキを使用しています。